

みその都市デザイン方針

〔要旨〕

2017年4月版

さいたま市美園地区において、まちづくりに係る“公民+学”の様々な関係者の連携・協働による、個性と魅力ある都市空間・都市環境づくりを促進させていくための共通指針として、2017年4月に『みその都市デザイン方針』を策定しました。

現在、本『方針』をベースに、公共空間高質化整備や土地活用促進・街並み誘導、交通環境改善など、各種詳細検討を進めています。

位置づけ・推進体制

本方針は、住民・地権者や企業、大学等の専門機関、行政機関などが参加する「みその都市デザイン協議会」を中心に、「アーバンデザインセンターみその:UDCMi」を協働・情報発信の場として活用しながら、公民+学の連携・協働により実現を図ります。

目標年次

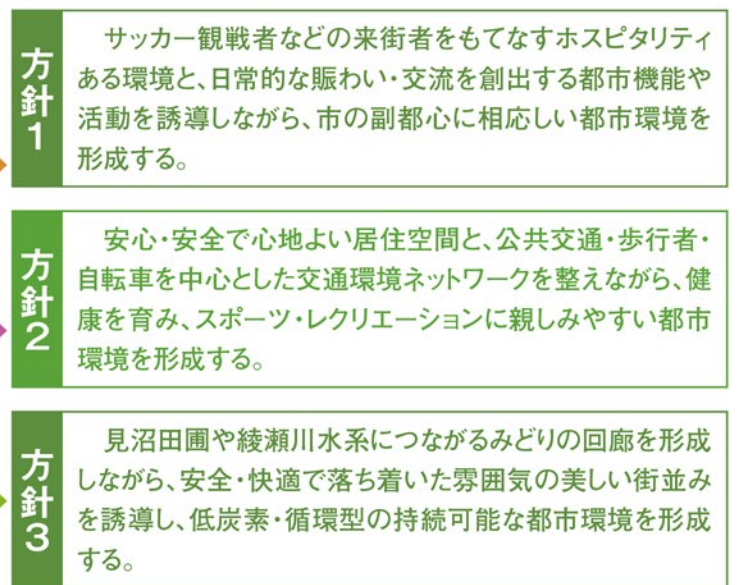
東京オリンピック開催の2020年度を目標として短期的な取組みを推進し、約15年後の2030年度を中長期的な取組みの目標年次とします。



基本理念(美園スタジアムタウン憲章より)



都市デザインの方針



都市デザイン方針図(拠点と都市軸の方針)



● 拠点

- 都市核(浦和美園駅周辺)**
 - 美園を象徴する緑豊かで品格ある空間にする
 - 副都心として多様な都市活動を支える快適・便利・賑わいのある空間をつくる
- 埼玉スタジアム2002公園**
 - 健康・スポーツに取組み、緑の拠点となる公園にする
 - 世界に誇れる快適なスタジアム環境をつくる
- 綾瀬川・調節池**
 - 治水機能を維持しながら、健康を育みスポーツに親しみやすい親水空間や憩いの場づくりをする
- 学校・公園**
 - 緑豊かで安心安全な居住空間の核となるような環境をつくる
- 特徴的な居住エリア**
 - 環境・エネルギー・自然・健康等をテーマに美園地区のモデルとなる居住エリアをつくる

● 都市軸

- ⇔ 都市骨格軸**
 - 緑豊かで品格のある景観と快適な歩行環境・自転車走行環境を形成する
 - 都市間交通の中心となり、街の入り口を演出する
- ⇄ 拠点アクセス軸**
 - 拠点間を結び都市生活の中心となる緑豊かで歩行者優先環境をつくる
 - 特に都市核と埼玉スタジアムを結ぶ軸は、大勢のサポーター・通行に対応し、サッカーの街に相応しい緑豊かな“スタジアム参道”を形成する
- ||||| オープンスペース・自然環境軸**
 - 緑と水の拠点を連続させ、健康を育みスポーツに親しみやすい都市環境を形成する
 - イベント開催などによる賑わい・交流の場をつくる

都市デザインの戦略

美園スタジアムタウン憲章

新価値創造

多世代健康

次世代環境

戦略の組み立てイメージ

- ① 主要な拠点・都市軸上に質の高い空間を形成する
- ② 空間上に人の活動やコミュニティの「場」を生み出す
- ③ 地区全体の「場」をネットワーク化する

方針1

サッカー観戦者などの来街者をもてなすホスピタリティある環境と、日常的な賑わい・交流を創出する都市機能や活動を誘導しながら、市の副都心に相応しい都市環境を形成する。

方針2

安心・安全で心地よい居住空間と、公共交通・歩行者・自転車を中心とした交通環境ネットワークを整えながら、健康を育み、スポーツ・レクリエーションに親しみやすい都市環境を形成する。

方針3

見沼田圃や綾瀬川水系につながるみどりの回廊を形成しながら、安全・快適で落ち着いた雰囲気の良い街並みを誘導し、低炭素・循環型の持続可能な都市環境を形成する。

戦略1

緑豊かな副都心の顔と骨格をつくる

戦略2

サッカー文化の薫る街のシンボル空間をつくる

戦略3

健康を育む緑と水の拠点を連続させる

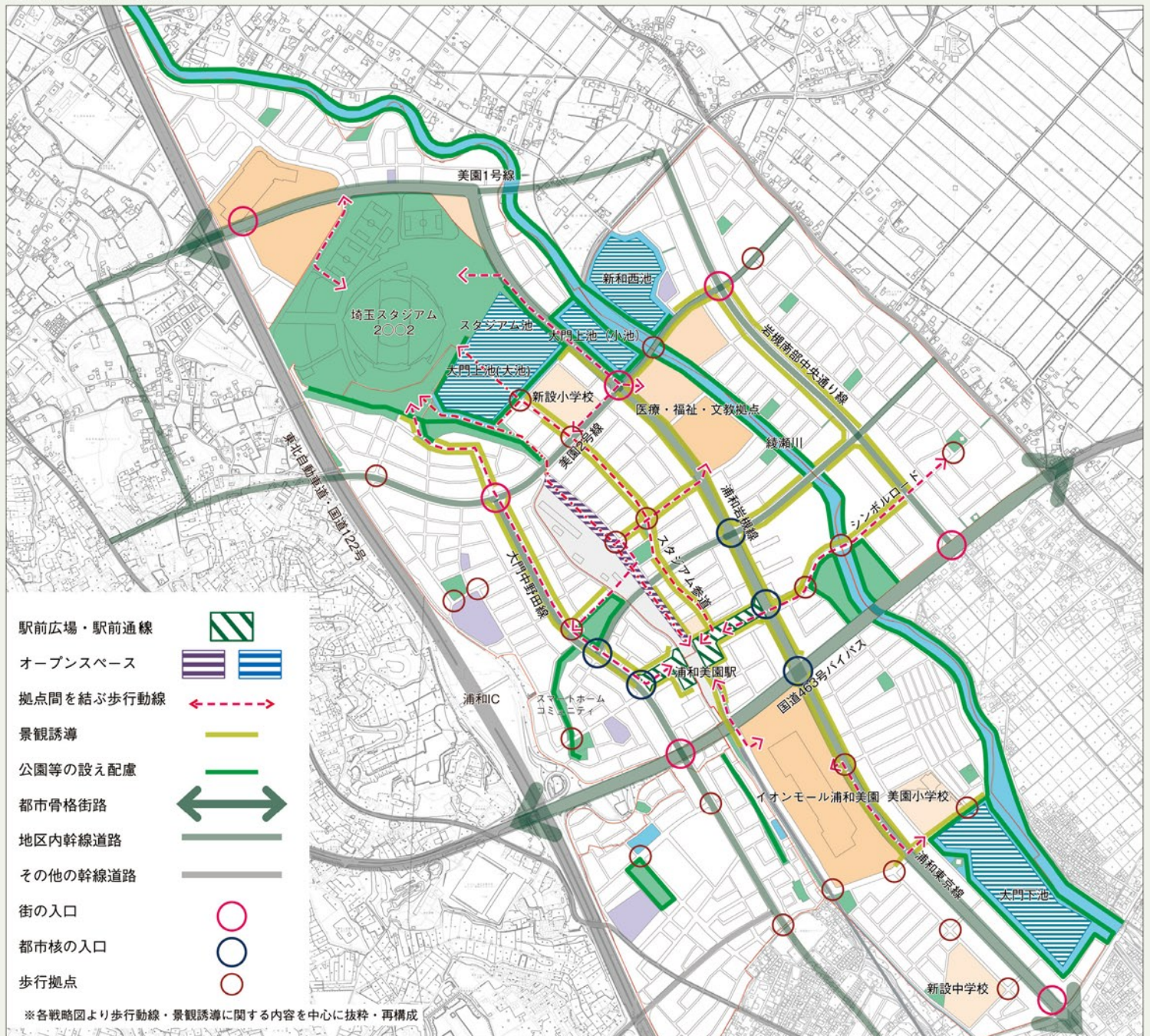
戦略4

安心安全・快適な居住環境をネットワークする

戦略5

都市デザインをマネジメントする

都市デザイン戦略図



戦略1. 緑豊かな副都心の顔と骨格をつくる

街の顔となる浦和美園駅周辺の都市核エリアと都市骨格軸（浦和岩槻線・浦和東京線、国道463号バイパス）を中心に、景観誘導や都市機能誘導を進めるとともに、交通環境の充実を図り、副都心に相応しい空間を形成する。

戦略1-1 緑豊かで活力ある都市核エリアを形成する

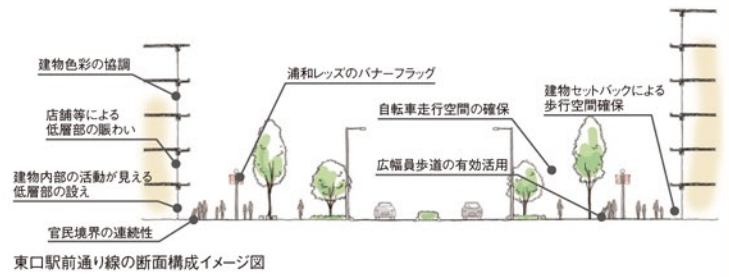
- (1) “美しい園”を象徴する緑と品格のある駅前空間をつくる
- (2) 副都心としての活力ある都市環境を形成する
- (3) 都市核エリアから周辺部へ歩行環境を連続させる

戦略1-2 街の骨格軸を形成する

- (1) 都市骨格軸を形成する
- (2) 緑豊かで安全な街路ネットワークをつくる
- (3) 都市拠点間接続機能を強化する

戦略1-3 街の入口を演出する

- (1) 街の入口を演出する
- (2) 都市核エリアの入口を演出する



戦略2. サッカー文化の薫る街のシンボル空間をつくる

景観的・文化的なシンボルである埼玉スタジアム2002と浦和美園駅を結ぶコミュニティ道路（通称：スタジアム参道）を軸に、重点的な景観誘導や交流と賑わいを生み出す空間づくりを進め、世界に誇れるサッカーの街・スタジアムの街をつくる。

戦略2-1 埼玉スタジアムを中心とした賑わい・交流拠点をつくる

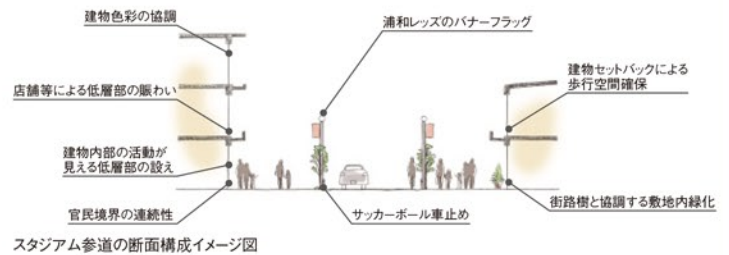
- (1) 世界に誇れる快適なスタジアム環境を形成する
- (2) 大門上池を活用した賑わい・交流の場を形成する
- (3) 埼玉スタジアムから周辺部へ歩行環境を連続させる

戦略2-2 “参道”を軸に表情豊かな都市環境を形成する

- (1) 美園のシンボルとなる“参道”をつくる
- (2) 多様な都市活動を展開する
- (3) 医療・福祉・文教拠点へ歩行環境を連続させる

戦略2-3 スタジアムアクセス空間を充実させる

- (1) 既存のオープンスペースを活用する
- (2) 街の回遊性を強化する



戦略3. 健康を育む緑と水の拠点を連続させる

美園地区固有の自然環境である綾瀬川の水辺環境を軸として、街づくりによって生み出した公園・調節池に緑と水の拠点づくりを進め、健康を育みスポーツ・レクリエーションに親しみやすい都市環境をつくる。

戦略3-1 綾瀬川に緑と水の軸を形成する

- (1) 綾瀬川に歩行環境を整備する
- (2) 周辺部へ歩行環境を連続させる

戦略3-2 健康、環境・エネルギーの拠点を形成する

- (1) 広大な調節池を活用する
- (2) 調節池を介して街の拠点を連続させる
- (3) 身近な健康拠点を形成する

戦略3-3 近隣公園を核に緑をひろげる

- (1) 緑の核として近隣公園を整備する
- (2) 近隣公園から東西へ緑をひろげる



綾瀬川の断面構成イメージ図

戦略4. 安心安全・快適な居住環境をネットワークする

地区内の公園・学校を中心に安心安全な歩行環境ネットワークをつくり、美園らしさを活かした快適な居住環境を展開する。

戦略4-1 歩行者中心の居住環境ネットワークをつくる

- (1) 安心安全な歩行環境ネットワークをつくる
- (2) 歩行環境を補完する地区内交通環境を整える
- (3) 住宅地の安らぎと美しさを保つ

戦略4-2 美園らしさを生かした居住環境をつくる

- (1) モデルとなる住宅街区を形成する
- (2) 農とふれあえる居住エリアをつくる
- (3) 斜面林を保全する
- (4) 見沼の緑と風を美園に迎え入れる



住宅敷地内緑化



安心感を与える住宅外構照明 / さいたま市緑区



斜面林(下野田緑地)



歩行拠点となるポケットパーク / さいたま市北区

戦略5. 都市デザインをマネジメントする

公民+学による連携・協働の場を維持・強化しながら、公有地・民有地において地域の特色やまちづくりのステージに応じた都市空間のデザインマネジメントを推し進めていく。

戦略5-1 地域が連携・協働するプラットフォームを築く

- (1) 継続的な連携・協働の場をつくる
- (2) 地域を巻き込んだオープンな議論を展開する

戦略5-2 都市空間のデザインマネジメント体制を構築する

- (1) オープンスペースの利活用・維持管理体制を構築する
- (2) 主要地区において景観協議の仕組みを構築する
- (3) 生活エリアの景観・美観づくりを進める

戦略5-3 都市のコミュニケーション力を高める

- (1) 地域への情報発信を推進する
- (2) 街への関心を高めるプログラムを展開する
- (3) 街に対する愛着・誇りを醸成する



みその都市デザイン協議会



まちづくりワークショップ



清掃活動



市民参加プログラム

みその都市デザイン方針

2017年4月版



自治会連合会(美園地区, 新和地区), 土地区画整理事業関係者(浦和東部第一地区, 浦和東部第二地区, 岩槻南部新和西地区, 大門下野田地区, 大門上・下野田地区), イオンリテール株式会社, 浦和レッドダイヤモンド株式会社, 埼玉高速鉄道株式会社, 国際興業株式会社, 一般社団法人美園タウンマネジメント, 埼玉大学, 芝浦工業大学, 埼玉スタジアム2002公園管理事務所, 埼玉県, さいたま市
(2019年3月時点)

お問い合わせ先(みその都市デザイン協議会事務局)

一般社団法人美園タウンマネジメント

Phone. 048-812-0301

E-mail. info@misono-tm.org

さいたま市 浦和東部まちづくり事務所

Phone. 048-878-5143

E-mail. urawa-tobu-machidukuri@city.saitama.lg.jp